

<第4616回>

目的地：妙高山（+春日山城跡）

担当者：西村

実施日：2025年7月5日（土）～6日（日）

形式：民宿泊 日帰り登山

費用：¥42,000.-（JR往復23,040円、宿舎14,500円、レンタカー他4,460円）

参加者：4名

行程：

5日（天気：曇り時々小雨）

JR大阪駅(8:10)⇒(9:37)敦賀(9:58)⇒(12:00)上越妙高駅 [レンタカー借入]

⇒春日山城跡→春日山頂上(標高180m)天守閣跡などを散策(13:30～15:00)

⇒(17:00)燕温泉 花文(泊)

6日（天気：晴）[3:40起床]

燕温泉 花文(4:30)→(4:38)燕温泉登山口→(5:31)光明滝→(7:15)天狗堂→(8:45)鎖場→

(9:15)山頂(南峰)→(9:45)山頂(北峰)(10:10)→(11:45)天狗堂→(13:10)光明池→

(14:00)燕温泉 [入浴]

⇒ [レンタカー返却] 上越妙高駅 17:15⇒(敦賀)⇒21:09 大阪駅

感想：

2015年の「妙高山・火打山例会」では、雨天の為に登頂を断念した妙高山。10年の時を経てやっと登ることができました。今回は妙高山だけが目的なので、麓の温泉に泊り、軽い荷物で日帰りハイキングのつもりでしたが・・・思った以上に、歩きごたえのある山でした。

初日は、上杉謙信の居城であった春日山城跡を観光。山頂からは、上杉謙信も見たであろう直江津の街並みが一望できます。ボランティアの方からの説明もあり、ゆっくりと観光をしました。その後、本日の宿である燕温泉に向けて車を走らせます。山道に入ると濃霧のため、完全なホワイトアウト状態。数メートル先もよく見えず、スピードを落として慎重に運転し、ようやく燕温泉・花文に到着。温泉につかり、美味しい夕食を食べ、早めに就寝です。

翌日は早朝に燕温泉を出発。林道が終わると急な登山道が続きます。この地域は豪雪地帯ですので、この時期でも、ルート在所々に残雪が残っています。残雪で道が判りづらいところもあり、ヤママップをチェックしながら進みます。更に「胸突き八丁」の登りを越えると、急斜面の鎖場に到着。ここは足元や鎖がしっかりしており、問題なく通過できましたが、ここからが難関でした。山頂付近は溶岩ドームの岩石で形成されており、険しい岩場を手と足をフルに使って登る必要があります。幾度も岩場を乗り越えれば、やっと祠のある山頂(南峰)です。そして道標がある北峰にも、進み記念撮影。10年来の懸案も、やっとコンプリートです。＼(^o^)/

今回は結構険しい山行で、翌日は筋肉痛で階段がとても辛かったです。春日山城跡での観光も含め、思い出に残る山行となりました。